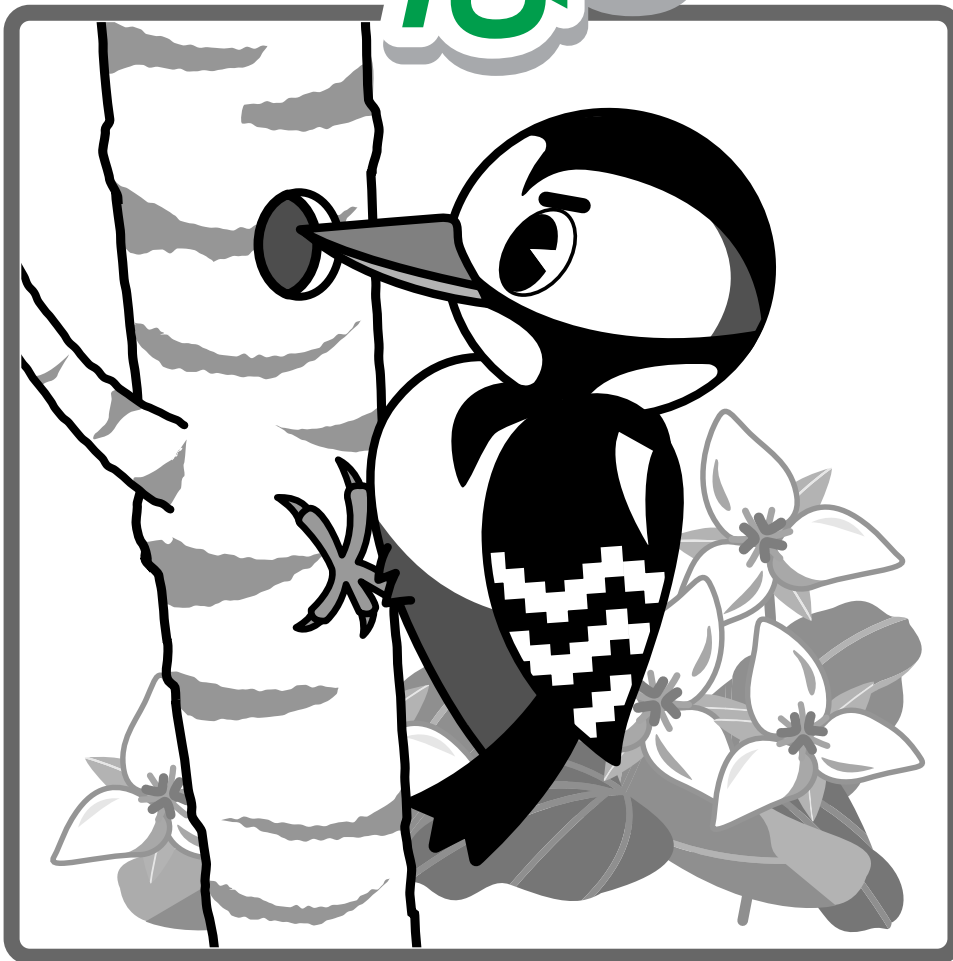


平成19年度～平成28年度

新名寄市総合計画(第1次)ダイジェスト

星☆雪❄️きらめき 緑の里なよろ



名寄市の 新しいキャッチフレーズ

市民の皆さんに名寄市のイメージと新名寄市総合計画(第1次)が目指す将来像とまちづくりに関心を持っていただくためのキャッチフレーズです。

“星・雪・きらめき”は、名寄市の豊かな自然環境のすばらしさや、いきいきとした市民の姿を表し、“緑の里 なよろ”は、天塩川の恵みに育まれてきた農業をはじめとする産業と人と人との結びつきを大切にして支え合い、一人ひとりが輝く名寄のまちを表しています。

市の木

シラカバ

市の花

オオバナノエンレイソウ

市の鳥

アカゲラ

(平成18年7月25日制定)

計画の策定にあたって

新「名寄市」は、平成18年3月、旧風連町と旧名寄市の新設合併により誕生しました。

本市は、合併という自治体の基本的な枠組みの変更に加え、少子高齢化の進行と人口減少や地方分権の推進、厳しい財政運営など多くの課題を抱える中で、多様化・複雑化する市民ニーズに応えることのできる自主性と自律性の高い行政運営が求められています。

本 計画は、地方自治法第2条第4項の規定に基づき、

市政運営における最上位計画であり、風連町・名寄市合併協議会で策定された「新市建設計画」を踏まえて、本市が目指すまちの「将来像」を示すとともに、その実現に向けて具体的な施策を明らかにするものです。

本計画の策定にあたっては、市のホームページや広報誌による情報公開はもとより、策定審議会への公募委員の参加、市民提案の募集や地域・職域懇談会の開催などを通じて市民参画の機会を設け、広範な市民の声を取り入れながら計画づくりを行いました。